



平成 27 年 1 月 30 日

「新年の物流を語る会」及び「新年賀詞交歓会」を開催

一般社団法人日本物流団体連合会（会長：川合正矩）は、平成 27 年 1 月 28 日（水）、海運ビルにおいて「新年の物流を語る会」及び「新年賀詞交歓会」を開催した。

「新年の物流を語る会」には会員、関係者約 200 名が出席し、2 社 9 団体（発言順：（一社）日本物流団体連合会、（公社）全日本トラック協会、日本貨物鉄道株、日本内航海運組合総連合会、（一社）日本長距離フェリー協会、（一社）日本船主協会、全日本空輸株、（一社）国際フレイトフォワードーズ協会・（一社）航空貨物運送協会、（一社）日本倉庫協会、（公社）全国通運連盟）の代表者が、それぞれ前年の回顧と新年の展望・抱負を語った。

その後、約 300 名の出席による「新年賀詞交歓会」が開催された。来賓の太田国土交通大臣からは、物がしっかり運ばれる体制が景気回復には重要であり、現場で汗を流す人々が報われる社会を全体で作らなければならないとの力強い挨拶があった。

また、川合会長は、挨拶の中で、去年は労働力不足という大きな課題が物流業界に押し寄せ、物流各社が様々な工夫を凝らした年であったが、その背景には、少子高齢化がある。これは、一過性のものではなく、社会全体の課題でもある。それを踏まえ、物流連としては、①物流業の国際的展開のための環境整備を進めること、②社会の重要インフラとして物流機能を高めていくこと、③物流を広く社会、国民から等身大で見ていただくことの 3 点に触れ、これらの活動を推進して行くとした上で、物流業界から社会への「発信力を強化すること」もまた重要であると述べた。

この新年の二つの行事の参加者は、昨年より増えており、国会開催中ではあったが、11 名の国会議員の出席もあって、盛大なものとなった。

以上

事務局：西城



平成27年 物流連 新年の物流を語る会

▲新年の物流を語る会風景



平成27年 物流連 新年の物流を語る会

▲川合会長



▲太田国土交通大臣



▲新年賀詞交歓会風景